

# Web Usability & Accessibility

25 在京テレビ局6社共同運営による「カウントダウン! 地上デジタル放送」サイト  
http://www.tokyo-dtv.org/

## 「テレビ」のサイトながら魅力乏しく利用者への配慮が足りず、効果に疑問

地上放送のデジタル化への準備が着々と進んでいる。関東、中京、近畿の三大広域圏では、今年末からの地上デジタル放送開始に向けて、「アナアナ変更」作業が対象地域で始まった。状況報告とともに、高度な放送サービスの実現、電波の利用効率向上など、「地上デジタル」のPRを目的とした在京放送局共同運営のWebサイトがある。視聴者代表として、サイトのユーザビリティ&アクセシビリティを、濱田・石田両氏に批評してもらった。

### Usability 解説 / 石田直子

図1

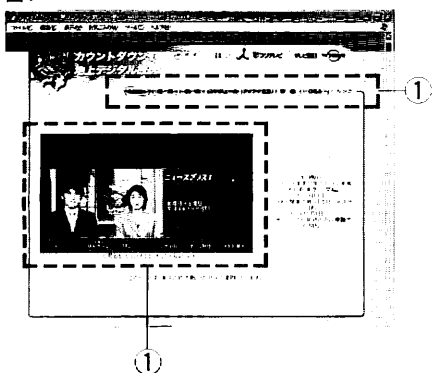


図2

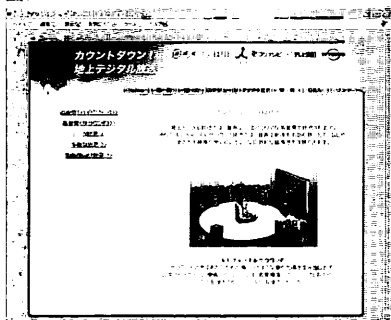
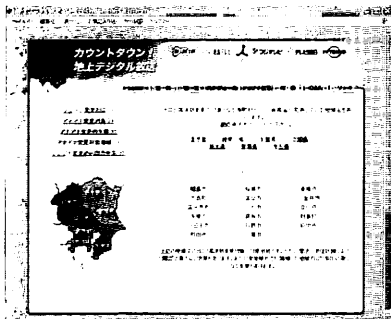


図3



今回はシンプルなサイトで、かつ情報提示型サイトです。ユーザビリティ的にはサイト構成がシンプルだと、サイトの構成の問題は少なくなります。しかし、シンプルであるだけに、目的が明確に表現されていなければ、サイトを訪れた人を惹きつけることができません。

【簡潔な内容表現でサイトの性質を明確に】  
このサイトのタイトルは、一体何なのでしょう。

タイトルバーやページの上には、一応「カウントダウン! 地上デジタル放送」とあります。テレビのバラエティ番組のタイトルとしてなら、これでよいかもしれません。けれどもWebサイトの場合は、ユーザーに目的を持って操作してもらうために、目を引くタイトルラインだけでなく、簡潔な内容の表現によってサイトの性質を明確にしなければなりません。このタイトルではサイトが何を目的としているのかは伝わりにくいでしょう。ここでは「このサイトは地上デジタル放送の普及を目的としています」などのサブコピー(タグライン)をつけるべきでしょう。

#### 【非常に標準的なナビゲーション】

シンプルでも大規模なサイトでも、Webナビゲーションの操作性の基本は変わりません。デザインが統一されていること、クリックできる部分とできない部分の区別及びその操作方法が見ただけでわかること、操作時の反応がユーザーの期待を裏切らないこと(フィードバックがあること)などです。

図1-①のエリアが、このサイトのメインのナビゲーションになります。また、この部分が全ページで共有されています。サブナビゲーションは、トップページ以外のページには左側に各項目の下の見出しが表示されます(図2)。これらはナビゲーションとして非常に標準的です。

#### 【わかりにくいプラグイン画像】

操作性で問題があるのは、トップページに表示されているプラグイン画像です(図1-②)。ここでは各テレビ局の番組画像と説明が順番に表示され、その下にテレビ局名のタブが出ています。タブをクリックするとそのテレビ局の番組画像を表示する仕組みです。ところが実際に操作してみると、クリックしたタブの画像が本当に表示されているのか、よくわかりません。なぜならば、各番組の画像にはどのテレビ局の番組かの表記はなく、操作ボタンがテレビ局名表示の役割を担っています。この画像は操作しなくても一定の間隔で次の画面へ移るので、自分のクリックでタブの表示が変わったのか、自動的に変わったのかわからないのです。

各局の代表的な番組とはいえ、すべての人がわかるとは限りません。「テレビ局名をクリックすると、そこから始まります。」とありますが、この

文章もわかりにくい。そこから何が? 始まるのでしょうか。

#### 【ユーザーに必要な情報の配置】

このサイトは地上波デジタル放送の目的や背景など、(若干論文調で一般向け説明としては難しいかもしれませんが)知りたい人にはかなり有益な情報が掲載されています。しかし背景や目的などは、基本的にデジタル放送に関心のある人に向けて公開している情報です。一般的な視聴者にとって、このサイトでより身近で重要な情報は「アナアナ変更(アナログ周波数変更対策)」でしょう。

図3のサイトによれば、「アナアナ変更の対象となる地域にお住まいの方には、現在ご覧になっているテレビのチャンネルの再設定やアンテナを取り替えていただく場合があります」とのこと。これは知りたい人が見るのではなく、対象となる地域の人には積極的に告知すべき情報ではないでしょうか。したがってサイトのトップページで、もっと目立たせる工夫が必要です。

#### ----- 評価 -----

- サイトの目的が伝わること ★★
- 何がそのサイトの狙いなのかをトップページで表現します。
- 学習しやすさ ★★★★★
- すぐそれを使い始められるように、全体像と次に何をすべきかを伝えています。
- 効率性 ★★★
- デザインや構成が統一されていると作業の効率性が上がります。
- 記憶しやすさ ★★★★★
- 上記と同じく、デザインや構成が統一されていると記憶しやすくなります。
- エラーを少なく ★★
- エラーはないほうがよいのですが、避けられないものでもあります。回復方法が明確になるように。
- 満足を与える ★★
- ユーザーにとって楽しかったり、有益であったりというメリットが必要です。

#### 総合評価 ★★★★★

地上デジタル放送が全国的になるのはまだ時間がかかるとしても、日常に溶け込んだテレビメディアの大きな変化の普及サイトとしては、もう少しわかりやすい説明が必要ではないでしょうか。



アクセシビリティ分析担当  
**濱田英雄**  
(株)ユーディット 主任研究員  
hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当  
**石田直子**  
(株)ユーディット 研究員  
naoko@udit-jp.com

(株)ユーディット  
URL <http://www.udit-jp.com>  
「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

図7



合、スタイルシートで背景と同色の1px指定で文章を入れるか、1pxの透明画像をつけて、その画像に情報をALT属性で入れるという方法があります。

【背景】

●色による情報提供(図8)

ページの下に、紺色は「地上デジタル放送を既に開始」、薄い紺色は「計画中、または実験中」というように、色の区別による情報提供がされています。当然ながら、音声ブラウザで判断することができません。本文などである程度内容はわかるにしても、補足情報がほしいところではあります。

ここだけではありませんが、図にALT属性が入っていません。補足的な情報でさほど意味がないとしても、情報の平等性からみれば、「○○の図」といった具合に、図が入っていることは知らせるべきでしょう。

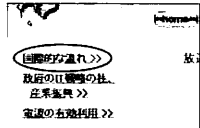
図8



●リンクのつけ方(図9)

左側のメニューですが、表示されているページにもリンクが張られていて、これでは別のページがあると錯覚します。表示ページのリンクを外すことで、音声でもどのページにいるのかわかりやすくなるでしょう。

図9



**Accessibility** (解説/濱田英雄)

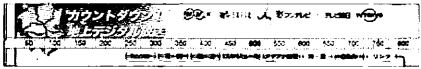
このサイトは、テキスト主体で全体量も少ないので、あまり問題点がないように思われましたが、評価は低くなってしまいました。量が少ないうえに、もっとアクセシビリティに配慮してほしいのですが……。

【トップページ】

●作成サイズの問題(図4)

このサイトの作成サイズの横幅は、840pxになっています。最近のパソコンディスプレイは、1024px×768px(XGAクラス)が増えており、それ程問題を感じないかも知れません。しかし、画面の領域が800px×600px、640px×480pxというユーザーも結構いますし、弱視の人が見やすさのために拡大して見ることもあります。このように横幅が長いと、横スクロールバーが出て使いにくくなります。アクセシビリティの観点から、640px×480pxを推奨しているところもあり、現時点では、横幅が800pxを超えないように作成した方がよいでしょう。

図4



●ALT属性のつけ方(図5・6)

メニューバーには、ALT属性がついていません。そのため音声ブラウザでは画像ファイル名が読み上げられ、リンク先がわかりません。メニューバーの代わりに、ステータスバーにリンク先が表示されていますが、音声ブラウザでは読めません。一番重要なリンクなので、ALT属性をつけるようにしましょう。

図5

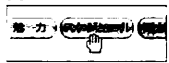


図6



●Flashによる情報提供(図7)

各局の代表番組を「Flash」で紹介していますが、音声ブラウザでは何らかのオブジェクトがあることしか判断できません。

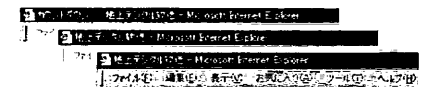
必要な情報は代替手段を用意すべきです。ここでは、「2003年末いよいよ始まります地上デジタル放送。お馴染みの番組もデジタル化されますよ。開運!なんでも鑑定団、毎週火曜日、夜8時54分から9時54分、テレビ東京…」などと、テキストの情報量が多いので、通常のALT属性では無理があります。このような場

【全体】

●タイトル属性のつけ方(図10)

このサイトのタイトル属性はすべて同じになっています。音声ブラウザでは、タイトル属性が最初に読まれ、内容を知る重要な手がかりになります。内容にあった適切な言葉を入れる必要があります。

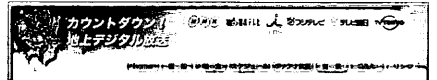
図10



●メニューバーのスキップ(図11)

このサイトでは、ページ冒頭に各放送局のリンクとメニューバーがあります。音声ブラウザでは、毎回これらを最初に読み上げることになるので、本文へスキップするリンクを入れた方がよいと思います。

図11



----- 評価 -----

- 画像にはALT属性をつけること ★★
- 説明の図などにALT属性がついていません。
- リンクボタンになっている画像のすべてにALT属性を使ってリンク先を明確にすること ★★
- メインメニューのリンクにALT属性がありません。
- 日本語のページでは外国語の乱用はせず、誰にでもわかるように配慮すること ★★★
- サイトの性格上、仕方がないところもあり、それ程問題はないと思います。
- 色によって伝えられる情報は、色がなくても情報が伝わるようにすること ★★★
- 一部に問題がありました。

HEADにつける<TITLE>は内容がわかるように適切なタイトルをつけること ★

ページのタイトルがすべて同じになっています。

レイアウトのテーブルは、情報が適切に音声ブラウザで読み上げられること ★★★★★

作りがシンプルなので、とくに問題はなさそうです。

**総合評価** ★★

音声に対応できない新技術が一部で使われています。